

第 56 回北海道高等学校教育研修大会 保健体育部会 報告書

平成 31 年 1 月 10 日 (木) 於：北海道建設会館「大ホール」	時 間	自 10 時 00 分 至 16 時 00 分	記 録 者	北海道札幌東豊高等学校 教諭 松 本 大 誠
---	--------	----------------------------	-------------	---------------------------

1 開会 ～ 北海道札幌手稲高等学校 教諭 谷口 隆

2 部会長挨拶 ～ 北海道岩見沢東高等学校長 若 林 利 行

昨日の AI 講演について、講師からは北海道教育への叱咤激励を受けたところである。昨年は「規律と厳しさ」について話をしたところであるが、さらに我々教員には「自己指導能力」の向上が必要と考える。そのため、今年は「規律と厳しさと学び」という学びを付け加えて、教員自らが常に学びを意識し、生徒たちに指導・指示を示してほしい。岩見沢東がこの事業を運営するのは最後となりますが、ありがとうございました。

3 紹 介 ～ 北海道苫小牧東高等学校長 森 浩 之

4 講 演

講師紹介 ～ 北海道恵庭南高等学校長 平 野 雅 嗣

講 師 ～ 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツ教育学科
教授 佐 藤 豊 様



講 演 題 「新学習指導要領を踏まえた保健体育の授業づくりについて」

北海道には何かと縁があり、来道させてもらっているが、北海道高校の先生方の取り組みは大変素晴らしく、全国に発信して行ってほしい。本日のテーマにあるとおり、授業づくりについて「体育でこそ育てたい力・体育でどんな力を身に付けさせるのか？」主体的・対話的・深い学びでどうできるかについて隣と人とディスカッションしてください（3分程度、のちに数名から発表）

2045 年には AI が人間の能力を超えるといわれている。仕事も限られ、残る仕事、人間がやる仕事についても制限があるといわれている。そのような時代の中で、体育や保健でこそ子どもたちに残してあげられることは何なのかを考えていかなければならない。大学の授業でも学生と接している中で、「知識はあるが、自分の考えを述べさせると白紙になる」学生が多いと感じる。自らの考えを主張し、行動できる学生を育てていかなければと思うことが多い。

体育会系大学生の場合、踏み出す力はあるというイメージがあるが、体育でこそつきやすい「思考力・判断力」とはどのようなものがあるか？隣の人とディスカッションしてください（3分程度）

度、のちに挙手制での発表) 瞬時の判断力(瞬間的判断、状況対応力)は体育、特に動きがともなうなかではつきやすい。先生方も体育の教員ということで学校においても求められることがおおいのではないかと。(オランダ、他県の高校・中学の授業の様子を写した動画上映)

では、高校でどのような授業が求められているのか。学習指導要領では12年4ユニットで分けているが、中学3年～高校3年の最後の部分ではいわゆるマイスポーツ、生涯にわたって親しむことができるスポーツを見いだすことに重点を置いている。そのため、新学習指導要領では新たに「多様性」という言葉が入った。よい体育授業の二重構造として、基礎的条件が基本となる。具体的にはマネジメント、学習規律といったことである。基礎技能を整えてから内容的な条件として興味を引く内容であったり、教材・場づくり等を考えたりなど授業を組み立てていくことが大切である。

新学習指導要領体育科、保健体育科、改訂の要点として、目標の改善が「資質・能力の三つの柱に沿った目標表記に整理」され、内容構成の改善が、(1) 知識・技能、(2) 思考力・判断力・表現力等、(3) 学びに向かう力・人間性となった。内容及び内容の取扱いの改善では特に「多様な関わり方や共生」という言葉が入ったことにより具現化されたことが読み取れる。要するに、新学習指導要領改訂の方向性としては、「何ができるようになるか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」に着目してほしい。また、「学び直しを充実」についても触れられており、義務教育段階の学習内容の定着を図る指導の充実が必要で中学校との関連にも留意する。

最後に冒頭で話したが「体育でこそ育てたい力」「体育でどんな力を身に付けさせるのか」この部分も考えた時に、なぜ(概念)、どうやるの(方法)、何が身に付く(具体)を教師側が生徒に対し、適切に示しながら、考えさせる働きかけの授業展開の工夫をお願いしたい。

◎質 問

【大樹高校 金田校長】

DVDにあった他県の授業のように、本校においても「ユニバーサル化」を目指して授業の内容を考えている。グループ学習等もやっているが、本時の内容としてやることが多く、情報が混乱することはないか?

【佐藤教授】

他県の映像は研究授業だったため、より多くの内容を設定していたと思う。本来は生徒が混乱しないように内容を精選する。状況に応じた課題提示と評価方法を実践してほしい。

【旭川東高校 中川教諭】

カリキュラムマネジメントについては自分でつくるものなのか。それとも何かののっているものなのか。また、デジタルポートフォリオ化について何か知っていれば教えていただきたい。

【佐藤教授】

あくまで例示である。シンプル化を目指すならどこまでやるかを考え自分で作成していく。また、ポートフォリオ化の実践例はあまりわからないが、学生には振り返りシート等をWEBで提出させる場面等もある。